

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第1回 岩城まちづくり協議会
開 催 日 時	平成30年 6月19日(火) 午後6時00分~午後7時40分
開 催 場 所	岩城総合支所 1階 会議室
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開会2. あいさつ3. 協議事項 (1) 協議案件の絞込みについて4. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

会議の経過

平成30年度 第5回 岩城まちづくり協議会

平成30年6月19日（火）
午後 6時00分 開会

【開会・あいさつ】

○渡部市民サービス課長

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
それでは、ご案内の時間となりましたので、只今より平成30年度、第1回「岩城まちづくり協議会」を開会いたします。

始めに、岩城まちづくり協議会 佐々木会長よりごあいさつをお願いいたします。

〔佐々木会長あいさつ〕

○渡部市民サービス課長

それでは、ここで事務局より、ご報告申し上げます。
本日の出席者は、13名となっており、まちづくり協議会の開会要件の1/2以上を満たしていることをご報告申し上げます。
なお、協議会の進行につきましては、規定により会長が議長を務めることとなっておりますのでよろしくをお願いいたします。

【協議内容】

○佐々木会長

それでは、さっそく案件に入りますが、本日の協議会につきましては、概ね午後7時30分までを、閉会の目途としておりますので、会議の円滑な進行にご協力をお願いいたします。
協議事項（1）「協議案件の絞込み」につきまして、事務局より説明をお願いします。

〔事務局より説明〕

○佐々木会長

前回、協議内容の説明もしていただきましたが、あの後時間も経ちまして内容について把握いただいていると思います。その中から、どういうものを絞り込んでいくか出していただければと思います。

A委員から順番にお話いただければと思います。

●A委員

まちづくりで考えると、地域の中の人元気になること、そのために地域を知ることが大事と思う。私の提案の中にもあるが、町内が元気になる仕組みづくりとして、CATVで市の状況などを楽しく見ることができるようになればと思うのでご検討いただきたい。

●B委員

「来てもらうこと」か「住民で盛り上がる」か、どっちかに絞らなければならない。

自分は町内会と老人クラブで世話役をやっているが、老人はなかなか前向きになれない。学生とかがやってくれるのが活性化のいい方法と思う。

前回出た国際教養大学との交流の話を更に進めたらいいのではないか。

●C委員

まちづくりは、やったことによって地域みんなが元気になるということが活性化につながるということになると思う。もうひとつは、やったことを他に知ってもらって来てもらう、ということだと思う。私が提案したのは、ひとつのプロジェクトを作って参加していただき、それをA委員の話のとおりCATVで取り上げていただくことになれば、それによって他の地域から来てもらう、そうなれば地域の皆さんもやってよかったということになるかと思う。

●D委員

色々なイベントを、もう少し知らしめるということが必要だと思う。教養大学のことも私は知らなかったこともあり、もう少し地域の人知るようにすれば身近に感じられるのではないか。あと、こうなったら「年寄りが住みやすい町」みたいなものを目指すのもいいのではないかと思う。

●E委員

何度も言っているが「まちづくり」なのか「まちおこし」なのかということで、色々調べてみたが、「まちづくり」とは、この町に住み続けたいという気持ちを持たせることだと思うが、そうすると最終的に福祉の充実ということになる。じゃあ、それで活性化になるのかという疑問。「まちおこし」だとすれば色々なイベントをやったほうがいいだろうが、そこはまだ自分でもはっきりしていない。先ほどCATVの話も出たが、見ている人が何人いるのか。また、よく「広報に載せている」と言われるが、それを何人見ているのか。

いずれにしても、皆さんの考えはまちおこしにいつているようなので、飲食とか、遊びで人を呼ぶ、親子で遊べる場所という考え方をとったほうがよい。そうなるとお金もかかるが、今はネットでお金を集められる。

● F 委員

「見る価値のあるもの」と「おいしい食べ物」があれば、人は来ると思う。他には観光農園、家庭菜園というのがある、いい考えだなと思った。ただ、家庭菜園は近場の人に限られるのかも知れない。

● G 委員

地域を知ってもらうためにも、やはり観光に力をいれていったほうがよいと思う。ただ、先日の「うまいもの自慢」でも、始まりから結構年数が経ってきて、やっている人がそろそろ年配になってきて、進めるのが大変になっていくと思う。若いマンパワーを外部から得ないと、地域内だけでは難しいのではないかと。「参加型」の観光ということでもよいのではないかと。

● H 委員

あと1年しかないので、実施はあきらめて提案ということにしてはどうか。また、テーマについては空き地は除外して観光に絞って提案書をつくってはどうか。内容としては従来から有る施設の活用を提案していけばどうか。

● I 委員

この会としてできることはそんなに大きなことで無く、少しでも前進するようなことかと思うので、手がかりとして観光ということでも良いと思う。以前は市に提案することが協議会の役割だったが、昨年の説明の中で自分たちで実践することが求められているとのことだった。これまでの協議のなかで、市に提言していくことと、自分たちが実行するというのと、ふたつの立場での発言が混在していたように思う。どちらの立場でもいいわけだが、我々はずっとこの会で活動し続けるわけではなく、任期が限定されているということは抑えておくべきと思う。色んないい案もあるが、誰がやるのかという部分は整理して話していかなければと思う。

● J 委員

基本的には提案ということできたいと考えている。話に出ているチーム滝俣のような活動を地域内で増やしていければいいと思うので、そういう方向で提案できればと思う。

○ 佐々木会長

最初の話に戻って申し訳ないが、昨年第一回目のとき、協議会が何かするにしても財源は各自で、という話をされたと思う。提案をして、金のかかるものがあったとしても、市からは出ませんよ、という話をされたと思う。せっかく提案書を出しても、実際ものにならないのであれば何のための会議か、というのは、今も思っている。

ただ、提言書として出しましょうということだったので、私なりにこういうことをしたいということピックアップしてきた。観光振興については亀田地区に散策路等を整備してお客様を呼びたいという案もあったが、大賛成。人手がかかることだが、婦人会や老人クラブの力を借りれば輪が広がることにもなるのではないかと。道川地区ではマリンスポーツの話があったが、多く人を呼び込むためには施設整備は必要だと思う。

空き地については、分譲とか畑づくりとか、やりたい人がいればいいのだが。

● K委員

亀田地区にはいろいろあるが、道川には道の駅しかない。ここをもっと充実していけばいいと思う。菜園とかも考えたが、地域の収入にもならないし、地域の中だけで終わってしまうのではないか。

● L委員

観光振興で、地域内にあるものを「見える化」した上で取捨選択してはどうか。あと、「既存施設を利用したイベント等の開催がしやすいシステムづくり」と提案したが、誰でも手を上げた人が、やりたいことが簡単に叶うようなシステムづくりが必要。地域づくり推進事業もあるが、もっと申し込みすれば簡単に色んなことができるようなことが必要と思う。空き地利用については、遊園跡地に果樹園を整備してはどうかと考えている。

● I委員

まちづくりについて大きく話をしているところがあるが、今日の案件は絞り込みということなので、その方向で話をしてはどうか。色々な観光資源があるが、地域のことを我々自身が知らないこともあるし、他の方にも知らせていく色んな仕組みを考えようという意見が多かったように思う。道川・亀田双方から見たいい所を出し合ってまとめていくような方向で残りの1年をやっていってはいかがでしょうか。

○ 佐々木会長

今、I委員からの話のとおり、亀田から見た道川、道川から見た亀田のいいところを出し合ってまとめていきたいと思う。そういう進め方でどうか。

● E委員

人を集めるイベントは、どうしても金がかかる。そこをどうするかが重要であって、どうやってタダで人集めするか、そこを提言しなければならない。また、「次の賑わい」に繋がるものでなければならない。

○ 佐々木会長

時間になりましたけども、色々出ましたが、今回は提案を出すことで進めたいと思います。そうすれば次回も絞込み？

● E委員

観光ということにするんでしょ？そしたら次はどういう観光があってどうすればいいか考えてくればいいのかでは。

● J委員

観光で決まりですか。

○佐々木会長

観光でやりましょうということなので。

●A委員

ひとつに絞って、ひとつできたら次にいくということでよいと思う。

○事務局

次回の協議の仕方としては、どのような形になるのでしょうか。

○佐々木会長

観光に関して、亀田、道川のいいところをお互いに出し合っただけのほうがよいのでは。

●L委員

それだけに絞るのか。観光振興ということで、どういう観光資源があるか委員で共有するためには洗い出しをしなければならない。観光資源として何が有るか共有しなければならない。

●D委員

もう少し単純に、こういうところがあるよとか、そこで終わって、それからその中でこれをピックアップして情報発信するとかでやっていかないと、あれもこれもと言われても私たちはわからない。あまり欲張っても進まない。

●L委員

だから、あるものを全部出して、洗い出してからその中からどれをといるのを協議して、その先に情報発信などもでてくる。何が有るかをまずは委員が共有するというところからやるべき。

●G委員

一人ずつ発言していると時間ばかりかかってしまうので、基本に戻って、各自の意見を付箋に書いて張り出してみるとか、そういう時間があってもいいかと思います。

●E委員

観光マップをつくれればよい。各自が、これは観光になる、と思ったものを持ち寄ってマップをつくってみてはどうか。

○佐々木会長

そうすれば、次回までに付箋でもメモでもいいので、地図を用意してもらって貼っていくような、そういう形で進めてみますか。じゃあ、後で日程的な調整をお願いします。

これで本日の会議を終了します。ありがとうございました。

【午後7時40分閉会】